

第 1 編 教育行政

1 行政組織

(1) 教育委員会の機構

① 教育委員会

令和 4 年 9 月 30 日付けで益田裕充委員が退任したことに伴い、10 月 1 日付けで日置英彰氏が委員に任命された。

また、令和 4 年 12 月 2 日付けで竹内健委員が辞職したことに伴い、12 月 3 日付けで小島秀薫氏が委員に任命された。

令和 4 年 12 月 3 日現在

職 名	氏 名	年 齢	職 業 ・ 役 職
教 育 長	平 田 郁 美	64	
教育長職務代理者	代 田 秋 子	41	無職（主婦）、保護者委員
委 員	沼 田 翔 二 朗	33	NPO 法人役員
”	河 添 和 子	61	元小学校長、保育園長
”	日 置 英 彰	59	群馬大学共同教育学部教授
”	小 島 秀 薫	69	会社役員

② 事務局

ア 事務局等職員定数

令和 4 年 4 月 1 日における群馬県教育委員会事務局等職員定数条例に定める職員定数は 510 名であった。

令和 4 年 4 月 1 日付けの組織改正として、令和 6 年 4 月に県立夜間中学を開校するため、義務教育課内に「夜間中学準備係」を新設し、開校に向けた準備体制を強化した。

また、令和 3 年度末をもって県有施設として妙義青少年自然の家を廃止することに伴い、事務局の組織を廃止した。

4 月 1 日現在における同条例定数内職員数は前年度同様に 418 名となった。

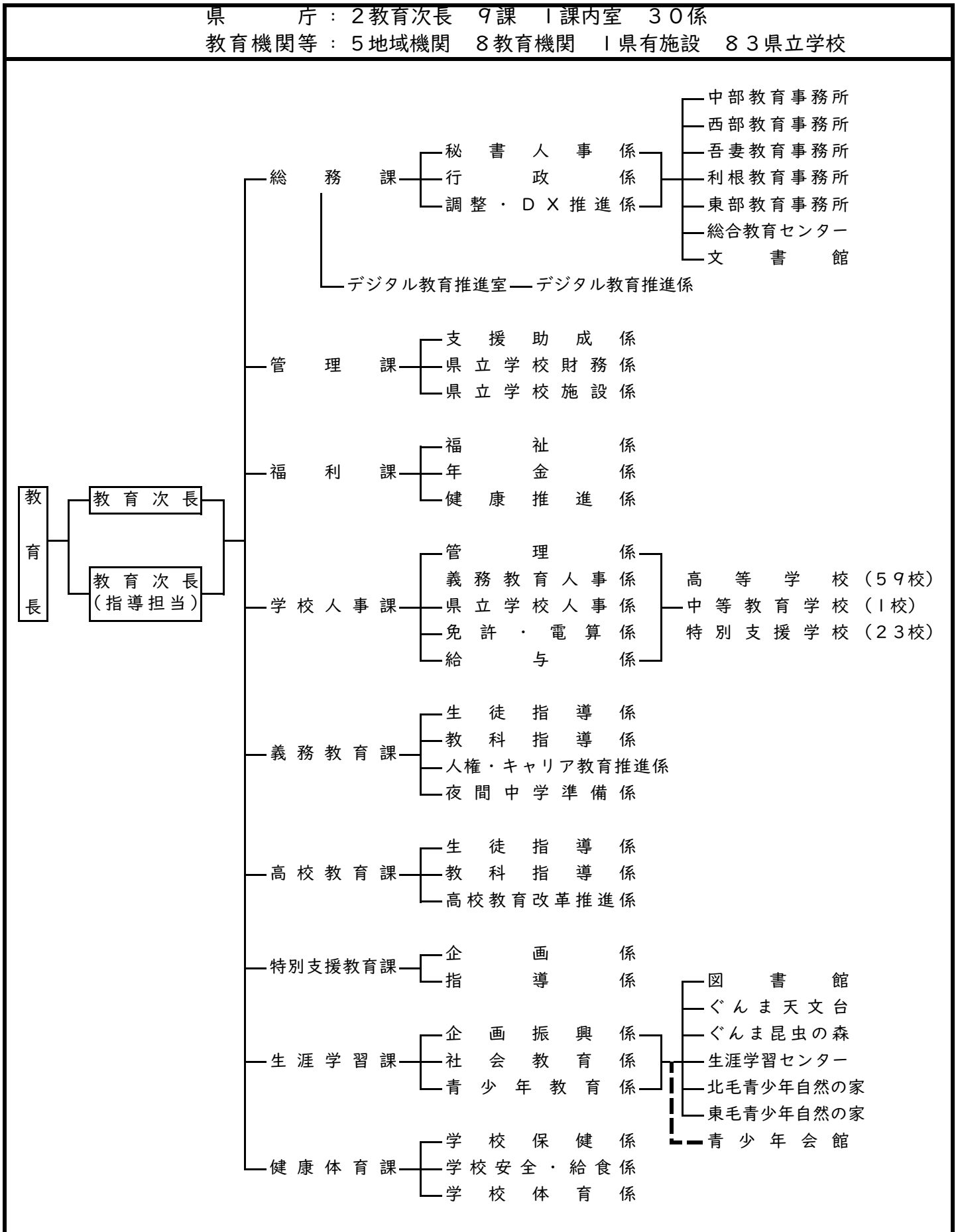
条例定数内職員数増減（令和 4 年 4 月 1 日現在）

※前年度同期（令和 3 年 4 月 1 日）比

所 属	増減数	所 属	増減数
管理課	+ 1	高校教育課	+ 1
福利課	+ 2	健康体育課	▲ 1
学校人事課	+ 2	総合教育センター	▲ 2
義務教育課	+ 3	妙義青少年自然の家	▲ 6

(3) 事務局等機構図

R4.4.1



※ 1 福利課については共済組合の組織は記載していない。

(2) 県立学校
① 高等学校

高等学校の学科及び生徒数(全日制) 令和4年5月1日現在

学校名	学科別	生徒数		計
		男	女	
前橋	普通	828	-	828
前橋南	普通	276	357	633
前橋西	普通	136	213	465
前橋西	国際	36	80	
前橋女	普通	-	841	841
前橋東	総合	330	300	630
勢多農	植科	66	52	
	植デ	34	45	
	バイオ	34	5	
	動科	35	85	
	緑土	99	17	
	食文	15	24	
	グリーン	8	32	
	食科	22	58	631
前橋工	機械	105	13	
	電機	113	6	
	電気	107	8	
	電子	97	21	
	建築	69	48	
	土木	89	31	707
前橋商	商業	549	287	836
高崎	普通	843	-	843
高崎東	普通	221	289	510
高崎北	普通	376	336	712
榛名	普通	148	81	229
高崎女	普通	-	836	836
吉井	総合	221	215	436
高崎工	機械	110	9	
	電気	119	1	
	情技	83	37	
	建築	70	48	
	土木	93	24	
	工化	57	62	713
高崎商	流ビ	80	79	
	情ビ	132	143	
	国ビ	77	81	
	グロビシ	17	19	
	会ビ	17	18	
	総ビ	70	74	807
桐生	普通	349	456	1,045
桐生清桜	理数	138	102	696
桐生工	普通	280	416	
	機械	228	12	
	建設	96	22	472
伊勢崎	創	52	62	
	普通	448	318	872
	グロ	43	63	
伊勢崎清明	普通	201	474	675
伊勢崎興陽	総合	175	418	593
伊勢崎工	機械	225	12	
	電機	117	3	
	電気	115	3	
	工化	92	23	590
伊勢崎商	商業	255	212	
	会計	63	52	
	情処	66	48	696
太田	普通	834	-	834
太田東	普通	342	364	706
太田女	普通	-	708	708
新田晁	総合	185	271	456
太田工	機械	218	9	
	電機	112	2	
	電気	31	3	
	情技	28	3	
	電情	71	8	485
沼田	普通	441	-	441
尾瀬	普通	27	26	133
尾瀬	自然	54	26	
沼田女	普通	-	356	356
利根実	普通	29	76	
	グリーン	22	97	
	機シス	28	4	
	環技	30	3	
	創工	67	7	363
館林	普通	589	-	589
館林女	普通	-	586	586
渋川	普通	591	-	591
渋川女	普通	-	593	593
渋川青翠	総合	213	238	451

学校名	学科別	生徒数		計
		男	女	
渋川工	機械	110	6	
	自車	107	3	
	電気	112	7	462
	情シ	99	18	
藤岡中央	普通	187	170	470
	理数	60	53	
	生産	54	74	
藤岡北	環土	53	54	350
	ヒューマン	20	95	
	機械	101	6	
	電気	97	7	314
藤岡工	電機	96	7	
	普通	367	276	643
富岡	生産	60	50	
	地域産	49	61	333
富岡実	電機	94	19	
	普通	116	86	202
松井田	普通	330	243	573
安中総合	総合	127	224	351
大間々	普通	46	23	69
万場	普通	51	33	84
下仁田	普通	76	88	
	生産	45	76	484
	環工	89	3	
吾妻中央	福祉	19	88	
	普通	64	38	102
長野原	普通	38	31	69
婦恋	普通	118	99	217
玉村	普通	101	89	190
板倉	普通	133	-	
	生シ	78	11	
	建築	72	77	490
	総ビ	70	49	
西邑楽	普通	132	221	
	スポーツ	70	31	535
	芸術	8	73	
大泉	普通	37	81	
	生産	58	60	467
	グリーン	68	48	
	食科	16	99	
計			29,993	

高等学校の学科及び生徒数(定時制) 令和4年5月1日現在

学校名	学科別	生徒数		計
		男	女	
前橋工	機械	44	4	
前橋工	建築	16	5	69
前橋清陵	普通	189	222	411
高崎工	工技	39	5	44
高崎商	商業	17	18	35
桐生工	工技	28	8	36
伊勢崎工	工技	73	10	83
太田フレックス	普通	254	236	490
沼田	普通	16	17	33
館林	普通	20	7	27
渋川工	工技	50	3	53
藤岡中央	普通	25	17	42
富岡	普通	17	3	20
安中総合	普通	15	8	23
計				1,366

高等学校の学科及び生徒数(通信制) 令和4年5月1日現在

学校名	学科別	生徒数		計
		男	女	
前橋清陵	普通	202	280	498
前橋清陵	看護	4	12	
高崎	普通	193	154	347
桐生	普通	52	131	183
太田フレックス	普通	179	191	370
計				1,398

② 中等教育学校

中等教育学校の学科及び生徒数(全日制) 令和4年5月1日現在

学校名	学科別	生徒数		計
		男	女	
中央	普通	379	375	754

③ 特別支援学校

令和4年5月1日現在

障害	No.	学 校 名	設置学部／児童生徒数					
			幼稚	小学	中学	高等	計	
視覚	1	盲学校	0	7	3	16	26	
聴覚	2	聾学校	17	26	20	14	77	
知的	3	しろがね特別支援学校		0	11	66	77	
	4	高崎特別支援学校		30	23	56	109	
	5	桐生特別支援学校		26	19		45	
	6	伊勢崎特別支援学校		95	68		163	
	7	太田特別支援学校		100	56		156	
	8	沼田特別支援学校		23	15	23	61	
	9	館林特別支援学校		47	28		75	
	10	渋川特別支援学校		50	31	44	125	
	11	藤岡特別支援学校		28	23	26	77	
	12	富岡特別支援学校		13	12	33	58	
	13	渡良瀬特別支援学校		44	29	87	160	
	14	吾妻特別支援学校		15	8	13	36	
	15	前橋高等特別支援学校				84	84	
	16	高崎高等特別支援学校				104	104	
	17	伊勢崎高等特別支援学校				75	75	
	18	太田高等特別支援学校				113	113	
	19	館林高等特別支援学校				62	62	
	肢体不自由	20	二葉特別支援学校		56	37		93
		21	二葉高等特別支援学校				46	46
22		あさひ特別支援学校		35	22	42	99	
病弱	23	赤城特別支援学校(本校)		6	4	4	14	
		前橋赤十字病院内教室		0	1		1	
		群馬中央病院内教室		0	0		0	
		桐生厚生総合病院内教室		0	0		0	
		伊勢崎市民病院内教室		0	0		0	
		公立藤岡総合病院内教室		0	1		1	
		公立富岡総合病院内教室		0	0		0	
	24	赤城特別支援学校 小児医療センター校		7	1		8	

※ 「設置学部／児童生徒数」欄に数値のある学部を設置。また、児童生徒数の高等部には専攻科を含む。(専攻科設置:盲学校)

2 行政活動

(1) 教育委員会運営方針

① 基本方針

新型コロナウイルス感染症により、社会や生活様式が大きく変容している中、学校の役割が再認識されるとともに、教育も「ニューノーマル（新常态）」への転換が急務となっています。

このような予測困難な時代を生きる子どもたちには、答えが一つに定まらない中で課題を発見し、解決に向けて自ら考え、多様な人々と協働する力や、新たな価値を生み出す力が必要です。

群馬県では、SDGsの理念の下、多様な個性を持つ子どもたちを誰一人取り残さない教育を目指すとともに、社会のデジタル化の進展に合わせた教育のデジタル化を進め、ICTを活用した教育イノベーションを推進する、「第2期群馬県教育大綱」（令和3年度～令和7年度）を策定し、群馬の未来を担う人づくりのために教育の基本的な方向性をまとめました。令和3年度は、この「第2期群馬県教育大綱」と「第3期群馬県教育振興基本計画」を踏まえ、次の8つの基本施策に沿った取組を展開します。

② 8つの基本施策

ア 時代を切り拓く力の育成

- ・ 社会のあり方が大きく変化し、ルールや目標が明確でない中で、自分の頭で未来を考え、生き抜く力を持ち、新しい価値を創造する「始動人」を育成します。
- ・ 教科等横断的・継続的にキャリア教育を推進し、大学等の教育機関、企業、関係団体、関係機関等と連携を図りながら、多様な学びの機会を提供し、社会的・職業的自立に必要な能力を育成します。
- ・ 郷土に関心を持ち、群馬で生まれ育ったことに誇りと愛着を持つ子どもを育てます。
- ・ 自国の歴史や文化についての理解を深めた上で、積極的に異文化を理解し尊重する態度を身に付けたグローバル人材を育成します。

イ 確かな学力の育成

- ・ ICTを活用した教育イノベーションを推進し、個別最適な学びと協働的な学びを通して、子どもたちの可能性を高めます。
- ・ 1人1台端末を最大限活用し、対面指導とオンライン教育のハイブリッド化により、学びの質の向上を図ります。
- ・ 主体的・対話的で深い学びを通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力等を育成しながら、学びに向かう力、人間性等を涵養します。
- ・ 探究型学習（総合的な学習（探究）の時間、STEAM教育等）を充実させ、課題が複雑化・多様化する現代において、多角的に物事を捉え、課題を解決する力を育成します。
- ・ 児童生徒がICTリテラシーを身に付け、情報を適切に活用・発信できるよう、発達段階に応じた情報活用能力を育成します。

ウ 豊かな人間性の育成

- ・ 学校教育全体を通して、多様性を認め自他を大切にすること、自己肯定感や自己有用感を育み、社会性や規範意識を高めるなど、健やかな心の育成を図ります。
- ・ ネットを介したいじめを含むすべてのいじめ防止に努め、良好な人間関係を築く力を育成します。
- ・ 本物の文化芸術や自然に触れることにより豊かな感性を育成します。

エ 健やかな体の育成

- ・ 心身の健康を保持増進し、群馬の未来を担う明るく元気な児童生徒を育むため、体力向上に向けた取組や、食育を推進します。

オ 信頼される学校づくり

- ・ 各学校の特性を活かした質の高い教育を推進し、保護者や地域社会との信頼関係を深めます。
- ・ 教員の大量退職や様々な課題への対応に向け、教員の資質向上を図ります。
- ・ 子どもたちとしっかり向き合う時間を確保できるよう、学校における働き方改革を推進し、教職の魅力向上を図ります。
- ・ 障害のある子とない子の交流及び共同学習を推進するとともに、各学校における特別の支援を必要とする児童生徒への指導を充実します。

カ 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

- ・ 感染症の正しい理解に基づいた「新しい生活様式」を踏まえ、児童生徒が安全に学べる環境を整備します。
- ・ 学校の施設整備や、防災・防犯、交通安全対策等、安全・安心な教育環境を確保します。
- ・ 就（修）学支援、多様な教育機会確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実を推進します。
- ・ 災害や交通事故等から自分自身や周りの人を守る力を育成します。

キ 家庭の教育力向上と学校・地域の連携・協働の推進

- ・ 質の高い就学前の教育・保育の提供を推進します。
- ・ 市町村や民間団体と連携して家庭教育を支援します。
- ・ 地域と連携・協働し、学校を核とした地域づくりを推進します。

ク 生涯学習社会の構築

- ・ 学校・家庭・地域・NPOなどの連携・協力体制を構築し、社会教育や生涯にわたる多様な学びを推進します。

(2) 教育委員会の会議

① 令和4年度における審議状況

ア 開催回数 12回

(内訳) 定例会 12回、臨時会 0回

イ 議案件数合計 89件

(内訳) 規則案件 35件、議会案件 11件、人事案件 12件、表彰案件 9件、附属機関関係等案件 10件、その他 12件

(3) 教育委員会委員の学校訪問、地区別教育行政懇談会

① 学校訪問

県教育行政の施策の参考にするため、次のとおり教育委員会委員による教育現場等の調査を実施した。

ア 期日

7月4日

イ 調査学校等

桐生市立黒保根学園、県立桐生高校

② 地区別教育行政懇談会

県教育委員会と児童・生徒を取り巻く学校・家庭・地域社会の関係者との意見交換を行うとともに、地域の要望等を把握することにより、教育委員会、学校、家庭、地域社会との連携の強化を図り、教育行政の活性化に資することを目的として、次のとおり懇談会を開催した。

懇談地区等	期日	出席者	懇談事項
中部地区	8月5日	中部教育事務所管内の市町村 教育委員会の指導主事	就学に係る教育支援の 現状と課題について

(4) 事務局等職員の人事管理

① 令和4年度末人事異動

ア 異動規模

297件（前年度284件に比べ13件増）

イ 内訳

退職15・配転等282

② 新任事務局等職員研修

ア 趣旨

事務局等職員として教育行政事務遂行上必要な知識及び資質のかん養を図る。

イ 日程

4月下旬から5月末まで

ウ 実施方法

動画視聴・資料講読

エ 人員

57名

③ 退職者表彰

永年勤続し、その成績が優秀な職員（退職者）を表彰した。

表彰日 3月31日 受賞者 4名

(5) 広報・広聴

① 広報・広聴活動

広報・広聴活動は、県民と教育委員会との相互理解を深め、教育委員会の諸施策が

より効果的に展開されるようにするためのものである。

令和4年度の主な広報・広聴活動は、次のとおりである。

- ア 教育関連情報の配信
- イ 教育に関する意見・要望等の聴取
- ウ 報道機関（記者クラブ）等への情報提供

② 教育関連情報の配信

教育DXの推進、省力・効率化のため、これまで年に3回配信していた広報紙「教育ぐんま」を休止し、令和3年度（令和3年4月）からLINEを活用して、教育関連情報を毎月デジタル配信した。

ア 配信内容

- ・年3回配信（4・9・1月）：教育委員会や学校の取り組みを紹介する特集内容
- ・毎月配信（4・9・1月を除く）：教育委員会所管施設のイベント情報等の紹介

イ 配信対象

県公式LINEアカウント「群馬県デジタル窓口」登録者のうち、「教育関連情報」の配信を希望した人。

③ 教育に関する意見・要望等の聴取

県民等からのメールや電話・投書等による教育に関する照会・意見・相談等に対応した。

区分	件数(%)	主な内容
質問	5(4.6%)	学校における新型コロナウイルス感染症対策等
苦情	24(22.2%)	教員の指導、児童生徒の問題行動、感染症対策等
提案	6(5.6%)	児童生徒の通学等、学校生活に関する提案等
意見・要望等	73(67.6%)	修学旅行、学校行事等に関する意見・要望等
計	108(100.0%)	

④ 報道機関（記者クラブ）等への情報提供

県政の主役である県民の目や耳として日々取材している報道機関各社を通し、教育関係施策等の情報を県民に周知、公表した。

さらに、報道機関各社の特集記事などの取材に協力し、資料や記録写真を提供するなど県教育行政の幅広いPRに努めた。

ア 教育委員会記者会見

83件（回数：12回）

イ 記者会見（アを除く）

12件

ウ 資料提供

110件

3 市町村教育委員会の概要

① 市町村教育委員会教育長の改選状況

令和4年度中における教育長の改選は、13市町村、12名について行われたが、近年の状況は下表のとおりである。

年度	改選市町村数	改選延べ人数	再任	新任
28	11	11	5	6
29	7	7	2	5
30	14	14	5	9
元	13	13	7	6
2	8	8	3	5
3	17	17	9	8
4	13	12	4	8

② 市町村教育委員会教育長の年齢別構成等の状況

令和4年5月1日現在の各市町村教育委員会教育長の年齢別等構成状況は下表のとおりである。

ア 年齢別構成

年齢 区分	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
人数	—	4	27	4	35
割合	—	11.4	77.2	11.4	100.0

イ 職種別構成

教育職出身者 30 人・教育職以外の出身者 5 人・計 35 人

③ 教育行政事務の広域処理について

市町村における教育行政事務の共同処理については、現在3つの組合教育委員会が設置されている。これらはいずれも一部の教育機関の管理運営のためのものであり、その概要は下表のとおりである。

教育委員会名	設置年月日	共同処理の内容
利根沼田学校組合教育委員会	昭和47年12月23日	利根商業高等学校
富岡甘楽広域市町村圏 振興整備組合教育委員会	昭和57年3月30日	富岡看護専門学校等
吾妻広域町村圏振興 整備組合教育委員会	平成12年4月1日	吾妻郡生涯学習複合施設等

④ 県市町村教育長協議会

県教育委員会と市町村教育委員会との緊密な連携協力のもとに教育行政の重要な施策について企画、協議、調整することを目的に、年3回（5月、11月、2月）開催した。

4 学校(園)の設廃と高等学校の収容計画

(1) 幼稚園、小・中学校の設廃

① 幼稚園の設置・廃止

新 設 (令和4年4月1日)	廃 止 (令和5年3月31日)
○新設幼稚園なし	○桐生市立東幼稚園 ○桐生市立川内南幼稚園

② 小・中学校の設置・廃止

新 設（令和4年4月1日）	廃 止（令和5年3月31日）
<input type="radio"/> 安中市立松井田小学校 <input type="radio"/> みどり市立笠懸西小学校（分離新設） <input type="radio"/> みなかみ町立みなかみ中学校 <input type="radio"/> 安中市立松井田中学校 <input type="radio"/> みどり市義務教育学校 「あずま小中学校」 <input type="radio"/> 桐生市義務教育学校 「黒保根学園」	<input type="radio"/> 安中市立松井田北中学校 <input type="radio"/> 長野原町立東中学校 <input type="radio"/> 長野原町立西中学校

(2) 高等学校の課程・学科等の設廃

令和4年度に設置・募集停止された学校、学科・生徒定員等については、次のとおりである。

① 課程・学科等の設置、廃止及び募集停止（数字は1学年学級数）

ア 設置

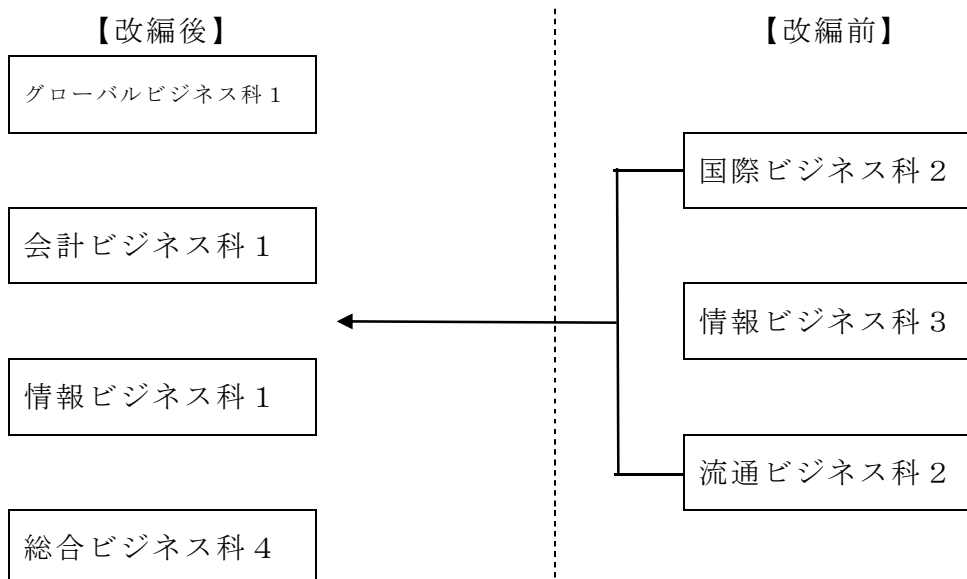
該当なし

イ 廃止

該当なし

② 学科・コース等の改編（数字は1学年学級数）

県立高崎商業高等学校



(3) 特別支援学校の設廃

① 特別支援学校の設置・廃止

新 設	廃 止
○なし	○なし